

なかのなっちょ隊 通信

令和元年度

Vo.11

～支え合いの地域へ～

なかのなっちょ隊（生活支援体制整備事業 第1層協議体）とは

「なっちょだい？」と声をかけあいながら、みんながつながって支え合えるよう、地域が求めているもの、地域に求められているもの、をみんなで考え、見つけ、情報を発信していく場。

参加団体：

地域住民、中野市社会福祉協議会、北信総合病院、シルバー人材センター、JA アップル、民生児童委員協議会、介護支援専門員連絡会、高水福祉会、長寿社会開発センター北信支部、長野県社会福祉協議会、中野市

令和元年5月24日(金)、

第2回 『みんななっちょだい？』

～話そう！支え合いの地域づくり～

が開催されました。

支え合いの地域づくり実現にむけて、なかのなっちょ隊と地域の皆さんと一緒に話し合い考える場である「みんななっちょだい？」ですが、前回の「みんななっちょだい？」の際に出された『他市の助け合い活動事例について聞きたい』という希望を元に、今回助け合い活動関係者・実践者の3名の方々からお話しをお聞きしました。

長野県社会福祉協議会 福澤さんからは、県内の様々な活動事例についてご紹介いただきました。



- ☆これまでの経験を活かし、地域サロンでの活躍。
 - ☆講座をきっかけにスタートした男性の集える場。
 - ☆参加者が活動の企画・運営から主体的に参加し、農作業を通じた世代間交流。
 - ☆地区のゴミ収集日に合わせてコーヒーを振る舞うことで、地区の見守り・交流の場へ。
- 等々、きっかけ・目的・活動内容・対象 等様々な多種多様な活動が県内には多くあることを知りました。

人口 300 人、120 世帯、高齢化率が 50%となっている長野市安茂里地区において、実際に地域の中で行われている助け合い活動『園沖支え愛ネットワーク』について、事務局の松本さんから活動についてお話しいただきました。

☆地区の困り事把握の為アンケート調査に取り組み、把握した困り事に対するボランティアを募集したところ 20 数名が名乗りをあげた。

☆有志達が中心となり活動について協議。

取り組みの第一歩は『支え合いマップ』の作成。地域の現状を「見える化」。

民生委員や近所付き合いが得意な女性達から情報収集。

助け合う意識が共有され、ニーズの把握と担い手の発掘に結びついた。

☆活動内容は「送迎」「ゴミ出し」「雪かき」「集いの場（体操、スポーツ麻雀）」「防災」、情報発信としての『園ネットニュース』等。

40代～50代の『勢年団（少年野球関係者）』が雪かき、草刈り、防災、子供向け地区行事の中心。

☆ワンコインの謝礼（原則無料）。運営資金は1000円の会費と、区や国からの補助金。

といったお話をお聞きしました。

助け合い活動の基本は『お互い様』の気持ちで、普段から地域でのつながりづくりをしておく事、ということをお聞きいただきました。

「モットーは『できる人が、できる時に、出来る事を』。無理せず！が大切。」



「住民から立ち上がったボランティア組織だから、みんなが主役。枠にはまらず、何でもできるように。」

市内にも『ロザリアン』という有償ボランティアグループがあり、代表者である児島さんから活動についてご紹介いただきました。



☆利用料金は30分500円（気兼ねなく頼んでもらえるように。）

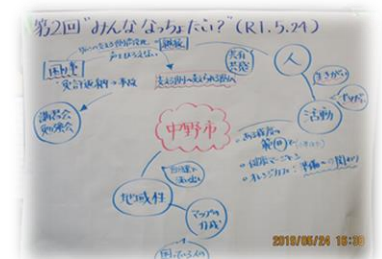
☆スタッフはヒューマンヘリテージ安源寺の非番職員。（児島さんは以前より支え合いの地域づくりの必要性について考え、活動を続けています。）

ヒューマンヘリテージ安源寺では、月1回認知症の方やその家族、地域の方々が集え、相談できる場である『オレンジカフェ』も開催しています。）

といった話をお聞きでき、参加者の皆さんに市内での助け合い活動について知っていただける機会となりました。

最後にグループワークを行いました。園ネットへの質問が多かったのですが、助け合い活動について中野市内で今後具体的に進めていく、といった内容までは話し合いは進みませんでした。

今回お聞きした内容をさらに様々な場で共有しながら、助け合い活動について考えていければと感じました。



生活支援コーディネーター活動日誌

【高梨桜まつり】



4月14日(日)、高梨館跡公園にて『高梨桜まつり』が開催されました。

『高梨まつり実行委員会』を中心に開催され、当日は鮮やかな桜が咲き、賑わいをみせていました。

地区老人会に所属されている方や、地区外から来られた方、子供から大人まで、様々な方々が桜と食事とアトラクションを楽しまれました。

参加者の中にはグループホーム入居者の皆さんもいらっしゃいましたが、地区行事に参加したいとの施設側の思いに応え、東町区民生委員さんからの声かけによって毎年参加することになったとのことでした。



アトラクションでは、様々なグループが出演されましたが、『支え合いの地域大交流会』で高梨まつり実行委員会さんが出展された際に、つながりが生まれた数団体も出演され、今年はお出演数が多いとのこと、楽しいひと時が流れていました。



一つの地区行事を運営するという事は、大きな時間を要する大変な事ですが、そんな行事の中で地区内外から様々な方が参加し交流する場となり、活動されている方々の活躍の場の一つにもなり、その活躍を見た方々にとってのさらなる活動のきっかけの場、ともなっていました。

【東松川十日会】

十日会は東松川で開かれているふれあいサロンです。毎月10日に開かれるため、忘れないようにとのことでサロン名に入れてあります。

参加者は10名程度で「話しするのにちょうどいい人数。」と、地区の対象女性のほとんどの方が参加されており、安否確認の場や、オレオレ詐欺などの情報交換の場ともなっています。

デイサービスに行っている方は「月に1回、みんなに会いたい。」と、この日だけはデイサービスをお休みするとのことでした。

こちらのサロンは民生委員さんではなく、ボランティアさんが主催されています。現在

は2代目の方ですが、「この会なくならないように、楽しい会を続けたい」との思いで引き継がれたとのことでした。

東松川区にはこのサロンの他に、『松栄会』という会もあり「男性を外に連れ出すための会で、年数回旅行（女性も一緒に行っている）している。」とのことでした。

また、月に1回公民館でカラオケを楽しむ会もあるそうです。

「(東松川は)小さな区なのでほぼ顔見知り。畑の様子からその家の様子もわかるよ。」と、東松川区では日常の中で自然な見守りや、顔の見える関係がまだまだ残っているようでした。



まちの元気シニアさん



西町区には10年以上前からご近所の方の温泉への送迎や、雪かき、といった助け合い活動を実践されている方がいらっしゃいます。

きっかけは、ご近所のお一人暮らしの方のことが気になり、「自分達が温泉行くついでに一緒に乗ってもらえれば」ということで声をかけたのが始まりとのことでした。

「いつもお世話になっているお礼。気遣い無いように、あえて送るといったことはしない。ついでだから負担は無い。自分たちも連れがいてにぎやかになっていい。『助かるわ』と言われると嬉しい。雪かきは自分の運動も兼ねて。もちろん謝礼の様なものも貰ってない。」とのことでした。

「大した事してるわけじゃないから。」とのことで、名前も写真も出さないでほしいとのこと希望でしたので、匿名で今回掲載させていただきました。

「在職中は忙しく地域に貢献できなかった。退職した今、恩返しのため地域のために少しでもできることをしている。ご近所大事にしたい。できることからしたい。」との思いを持ちながら、ご自分にとって無理のない、お相手にとって負担の無い、助け合い活動をされていました。

ちょっとした困り事を手助けしてくれるようなボランティアさん、地区の方が気軽に集まれるような場、高齢者に優しいお店やサービス、地域の中で活躍されている方、等の「地域のお宝」情報を教えてください☆



安心して年齢を重ねられるよう、「支え合い」や「あったらいいな」と思うものを地域みんなで考え、『地域のなっちょ隊』を作ってみませんか？

中野市高齢者支援課
生活支援コーディネーター:小島杏子
電話:22-2111(内線366)